

企 業概要

■社名：人吉アサノ電機株式会社（熊本県） <https://www.h-asano-e.jp/>

- 従業員数：140人
- 資本金：40百万円
- 売上高：7億4千5百万円
- 事業内容：マグネットリレーの受託製造
- 知的財産：特許2件、商標6件

相 談のきっかけ

下請け依存からの脱却を目指して

2002年の創業当初から、大手企業からのマグネットリレーの受託業務を主業務としている。リーマンショックによる受託業務の減少を受けて、2013年より開発技術による自社製品による下請け依存からの脱却を目指して新規事業の検討を開始した。

エアコンのピーク電気料を監視・制御し電気使用量を制御



課 題と支援の内容

課題

支援のポイントと活用した専門家

INPIT専門家

営業秘密管理体制の整備

- 保有する情報の秘密レベルに応じた管理方法の習得
- 管理体制の整備

弁護士

事業に関する契約の課題の明確化

- 事業に関する契約の課題と見直しポイントの明確化
- 顧客から取得するデータ等を活用する場合の対応策の明確化

弁理士

知的財産の見直し&強化

- 保有する知財権の権利範囲（特許・商標）と事業内容を比較検討し、商標を強化し、係属中の出願への手当を検討

技術士
中小企業診断士

保有技術活用した新ビジネスの検討

- IoTを用いた遠隔制御技術による顧客の課題解決ビジネスの可能性検討
- 顧客から取得データ活用の可能性検討

リーダー： 田久保泰夫（弁理士・中小企業診断士）
支援担当者： 吉本隆夫（熊本県知財総合支援窓口）

ピーク電力制御システムを自社開発

当社においてピーク電力を制御するため人的に対応していた業務の改善から着想し、小規模事業所等に導入が容易な電力制御システムの事業性に着目した。2014年に窓口の支援を得て特許出願し、ピーク電力制御システムの販売を開始し、今後の事業拡大を見据えて社内体制を整備すると共に、この技術や事業を活かして次のビジネスへ向けて手を打ちたい。

支 援を通じてできしたこと

項目

支援成果

事業拡大を見据えた社内体制の整備

- 事業に関する契約及び営業秘密管理の強化について具体的な進め方が明確になった。前者については外部弁護士活用の方針が決まり、後者については2019年8月に社内規程類を改訂した。

事業保護の視点から知財権活用

- 競合から事業を保護する視点から、知財権の活用の重要性を再認識し、必要な手当てができた。

次の新ビジネスへ向けて検討開始

- IoTを用いた遠隔制御技術をベースとする、新ビジネスへ向けて、具体的な研究開発に着手した。

社長の支援成果についてのコメント

新製品の事業を支える足固めをしっかりと行い、今後の事業拡大の準備ができたと思っている。保有する技術をベースに、その次の事業として何かできるか、様々な視点から議論ができる、研究段階へ実際に一步踏み出すことができて有益であった。なお、新製品売上2018年3.9千万円、2019年4.3千万円（見込み）に拡大し、その運用サービスの売上も2018年0.3千万円、2019年0.5千万円（見込み）と増加し、今後の成長に期待している。